

街へ、暮らしへ、広がる近鉄ネットワーク

証券コード9041

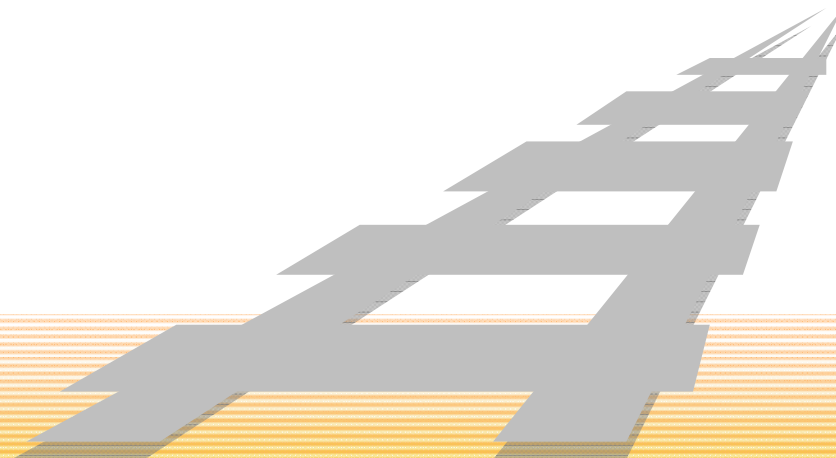


www.kintetsu.jp

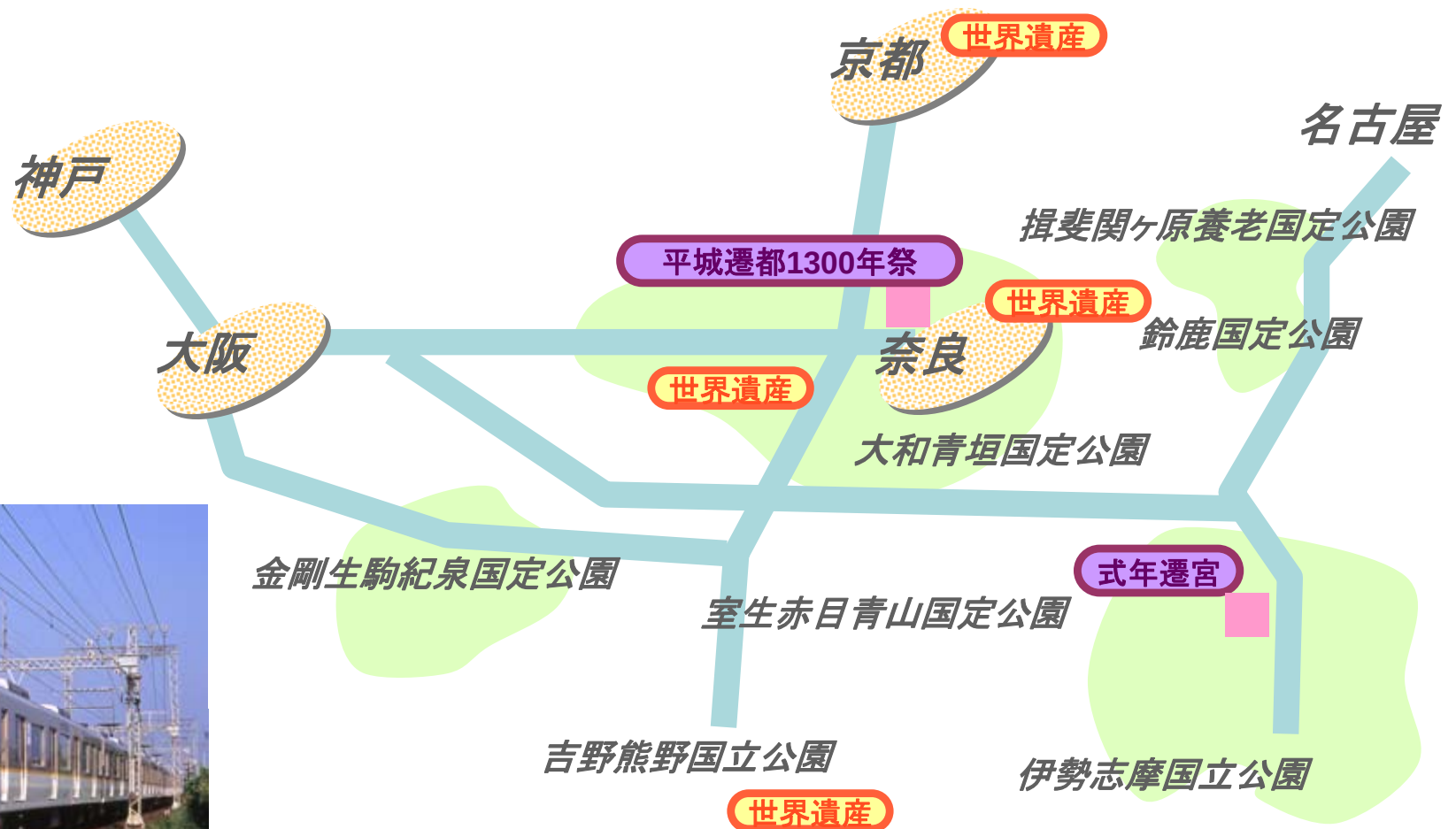
2010年3月期 第2四半期決算説明会

2009年11月17日

- I. 2010/3月期 第2四半期決算の概要
- II. 2010/3月期 通期計画
- III. 近鉄グループ経営計画 進捗状況



I. 2010/3月期 第2四半期決算の概要



2010 / 3期 第2四半期 決算トピックス

鉄軌道事業

- ◆ 奈良線八戸ノ里・瓢箪山間連続立体交差化工事、車両新造工事、京都駅および大和西大寺駅施設改良工事などを推進
- ◆ 09/4月 : 新型特急車両「22600系ACE(エース)」を導入開始
- ◆ 09/6月 : ICカード「PiTaPa」に区間指定割引サービスを新たに導入

ホテル・レジャー事業

- ◆ 京都駅直結宿泊特化型ホテル建設工事などを推進
- ◆ 09/7月 : 志摩スペイン村開園15周年記念新アトラクション「ダルのファンタジーワールド360」をオープン

流通事業

- ◆ 09/4月 : 西名阪自動車道の香芝サービスエリアにおいて「奈良近鉄レストラン」を新規出店
- ◆ 09/9月 : 大和西大寺駅構内ショッピングモール「Time's Place Saidaiji」を開業

不動産事業

- ◆ 阿部野橋ターミナル整備事業において旧館解体工事、上本町および四日市ターミナルにおいて複合ビル建設工事などを推進
- ◆ 09/9月 : 流動化していた賃貸ビル「名古屋近鉄ビル」および「ル・シエル学園前」を取得
- ◆ 09/9月 : 奈良近鉄ビルリニューアル工事が完成

グループ再編

- ◆ 09/4月 : 近鉄グループ不動産会社2社が合併

■ 経営成績

- ◆ **売上高＝4,719億円(+78億円、+1.7%)**
運輸業は鉄軌道部門で阪神電気鉄道との相互直通運転による増収はあったが、景気悪化に加え高速道路料金引下げによる長距離輸送の減や新型インフルエンザ流行による出控え等により、旅客収入は減
レジャー・サービス業は前年下期からのクラブツーリズム連結化により増収
流通業は百貨店部門で阿倍野店の建替工事に伴う営業面積の縮小に消費低迷も加わり減収
不動産業は販売部門で前年に大型マンション分譲があったため減収
- ◆ **営業利益＝157億円(▲123億円、▲44.1%)**
運輸業は鉄軌道部門で旅客収入減により減益
レジャー・サービス業はホテル部門の収入減により減益
流通業は百貨店部門で減収に売り場改装等に伴う償却負担増も加わり減益
不動産業は販売部門の減収および賃貸部門の阿部野ターミナルビル建替に伴う賃料改定により減益
- ◆ **経常利益＝64億円(▲119億円、▲64.9%)**
営業外収支の改善により減益幅が若干縮小
- ◆ **四半期純利益＝25億円(▲87億円、▲77.2%)**
特別配当金など特別利益44億円、固定資産除却損など特別損失35億円を計上

■ 設備投資

- ◆ **407億円(+121億円)**
大和西大寺駅構内ショッピングモール「Time's Place Saidaiji」建設、上本町駅南複合ビル(仮称)建設、近鉄百貨店阿倍野店全館リフレッシュオープン、都ホテルトーランス・カリフォルニア建設、流動化していた賃貸ビル「名古屋近鉄ビル」および「ル・シエル学園前」取得 等

2010/3期 第2四半期 業績の概要

(億円:%)	2009/3期 第2Q		2010/3期 第2Q		前年同期比増減	
		構成比		構成比	金額	率(%)
売上高	4,641	100.0	4,719	100.0	78	1.7
営業利益	281	6.1	157	3.3	▲ 123	▲ 44.1
経常利益	184	4.0	64	1.4	▲ 119	▲ 64.9
特別利益	22		44		21	96.7
特別損失	15		35		19	129.0
四半期純利益	112	2.4	25	0.5	▲ 87	▲ 77.2

1株当たり純利益 6円65銭

1円52銭

(注)連結子会社数 49社(前期末比1社減)

持分法適用会社数 7社(前期末比増減なし)

(億円)	2009/3期 第2Q	2010/3期 第2Q	比較増減額
設備投資	286	407	121
減価償却費	213	222	9

2010/3期 第2四半期 セグメント別実績

(億円:%)	2009/3期 第2Q	2010/3期 第2Q	前年同期比増減	
	売上高	売上高		
	営業利益 (営業利益率)	営業利益 (営業利益率)	金額	率(%)
運 輸 業	1,123	1,063	▲ 59	▲ 5.3
	179 (16.0)	146 (13.8)	▲ 32	▲ 18.2
レジャー・サービス業	654	1,285	631	96.5
	▲ 4 (▲0.7)	▲ 13 (▲1.0)	▲ 8	▲200.6
流 通 業	2,307	1,999	▲ 308	▲ 13.3
	5 (0.3)	▲ 12 (▲0.6)	▲ 18	—
不 動 産 業	657	441	▲ 216	▲ 32.9
	94 (14.4)	30 (6.9)	▲ 64	▲ 67.9
そ の 他 の 事 業	245	260	15	6.2
	3 (1.3)	6 (2.5)	3	102.3
合 計	4,641	4,719	78	1.7
	281 (6.1)	157 (3.3)	▲ 123	▲ 44.1

[売上高の主な増減要因]

- ・運輸業のうち鉄軌道部門の減収 -39
- ・レジャー・サービス業で09/3下期よりクラブツーリズムを新規連結 +688
- ・流通業のうち百貨店部門の減収 -296 ・不動産業のうち販売部門の減収 -203

2010/3期 第2四半期 貸借対照表の主な増減

(億円:%)	2009/3期		2010/3期 第2Q		比較 増減額
		構成比		構成比	
流動資産	3,600	19.4	3,522	18.9	▲ 78
固定資産	15,005	80.6	15,143	81.1	138
うち事業用資産	13,546		13,719		173
資産合計	18,612	100.0	18,672	100.0	59
流動負債	6,290	33.8	6,423	34.4	132
固定負債	10,426	56.0	10,396	55.7	▲ 29
負債合計	16,716	89.8	16,819	90.1	102
うち借入金・社債	12,919		13,095		175
純資産合計	1,896	10.2	1,852	9.9	▲ 43
うち利益剰余金	▲ 22		▲ 89		▲ 67
負債、純資産合計	18,612	100.0	18,672	100.0	59

	2009/3期	2010/3期 第2Q
一株当たり純資産(円)	106.26	103.88
自己資本比率(%)	9.7	9.5

[主な増減要因]

資 産

- ・設備投資 +407
- ・減価償却・除却・減損 -242
- ・のれん償却 -14
- ・未収金回収 -64
- ・現預金の減 -19
- ・差入保証金・敷金の減 -18

負 債

- ・借入金・社債増 +175
- ・未払法人税等 +39
- ・賞与引当金の増 +16
- ・未払金の減 -126

2010 / 3期 第2四半期 キャッシュフローの状況

(億円)	2009 / 3期 第2Q	2010 / 3期 第2Q	比較増減額
営業活動によるキャッシュフロー	357	237	▲ 119
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 119	▲ 298	▲ 178
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 120	58	179
現金及び現金同等物の期末残高	375	288	▲ 86

[キャッシュフローの当期の状況と対前年同期比増減]

営業活動

- 主として税金等調整前四半期純利益の減少により、前年同期比119億円減となる237億円の収入

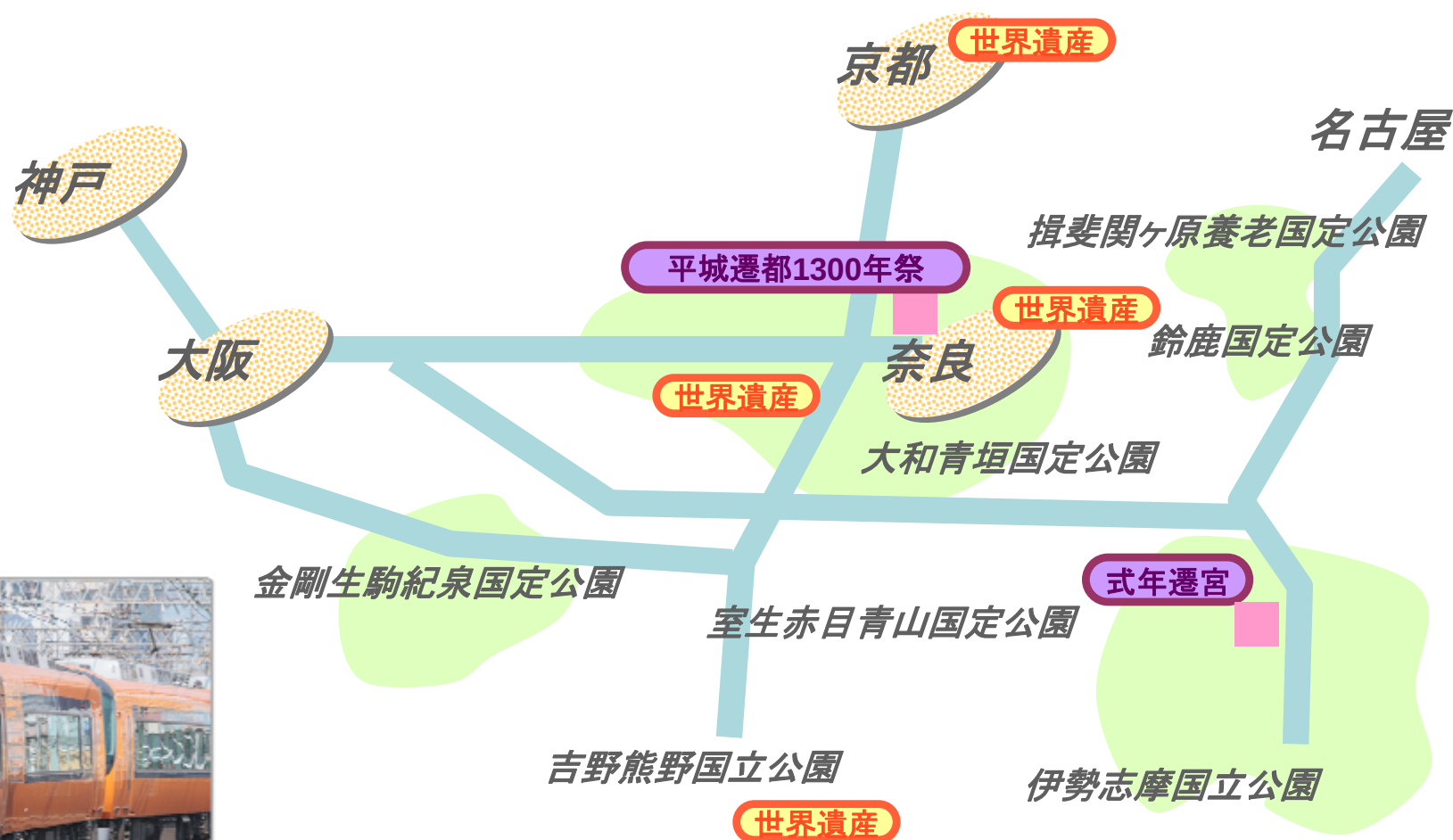
投資活動

- 阿部野橋、上本町、京都各ターミナル整備や流動化していた賃貸ビル買取等の固定資産の取得に438億円(前年同期比130億円増)を支出し工事負担金の受入等を差し引き、全体としては前年同期比178億円増となる298億円を支出

財務活動

- 設備資金の借入等により、支出超過であった前年同期に比し179億円の収入増となる58億円の収入

Ⅱ. 2010 / 3月期 通期計画



2010/3期 通期計画

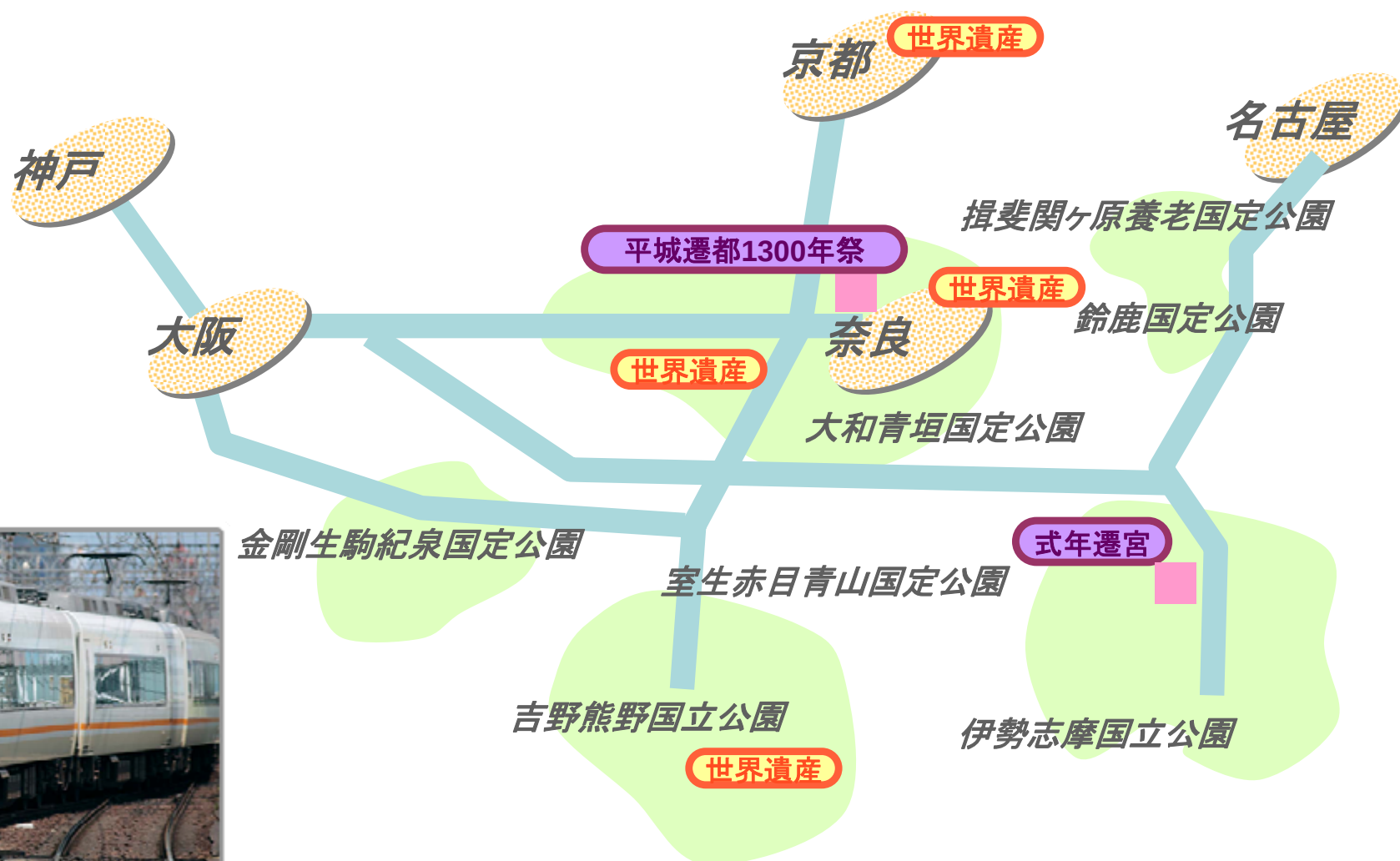
(億円:%)	2009/3期 実績		2010/3期 計画		前期比増減		当初計画 (5/13発表)	<参考> 業績予想修正 (8/10発表)
		構成比		構成比	金額	率(%)		
売上高	9,675	100.0	9,800	100.0	124	1.3	10,200	10,000
営業利益	432	4.5	350	3.6	▲ 82	▲ 19.1	420	350
経常利益	234	2.4	170	1.7	▲ 64	▲ 27.5	220	160
当期純利益	160	1.7	110	1.1	▲ 50	▲ 31.6	140	110

(億円)	2009/3期 実績	2010/3期 計画	比較増減額	当初計画 (5/13発表)
設備投資	687	760	72	640
運輸業	307	435	127	318
レジャー・サービス業	131	68	▲ 63	73
流通業	182	97	▲ 85	96
不動産業	102	150	47	140
減価償却費	458	460	1	460
借入金・社債残高	12,919	13,000	80	12,900

2010 / 3期 セグメント別計画

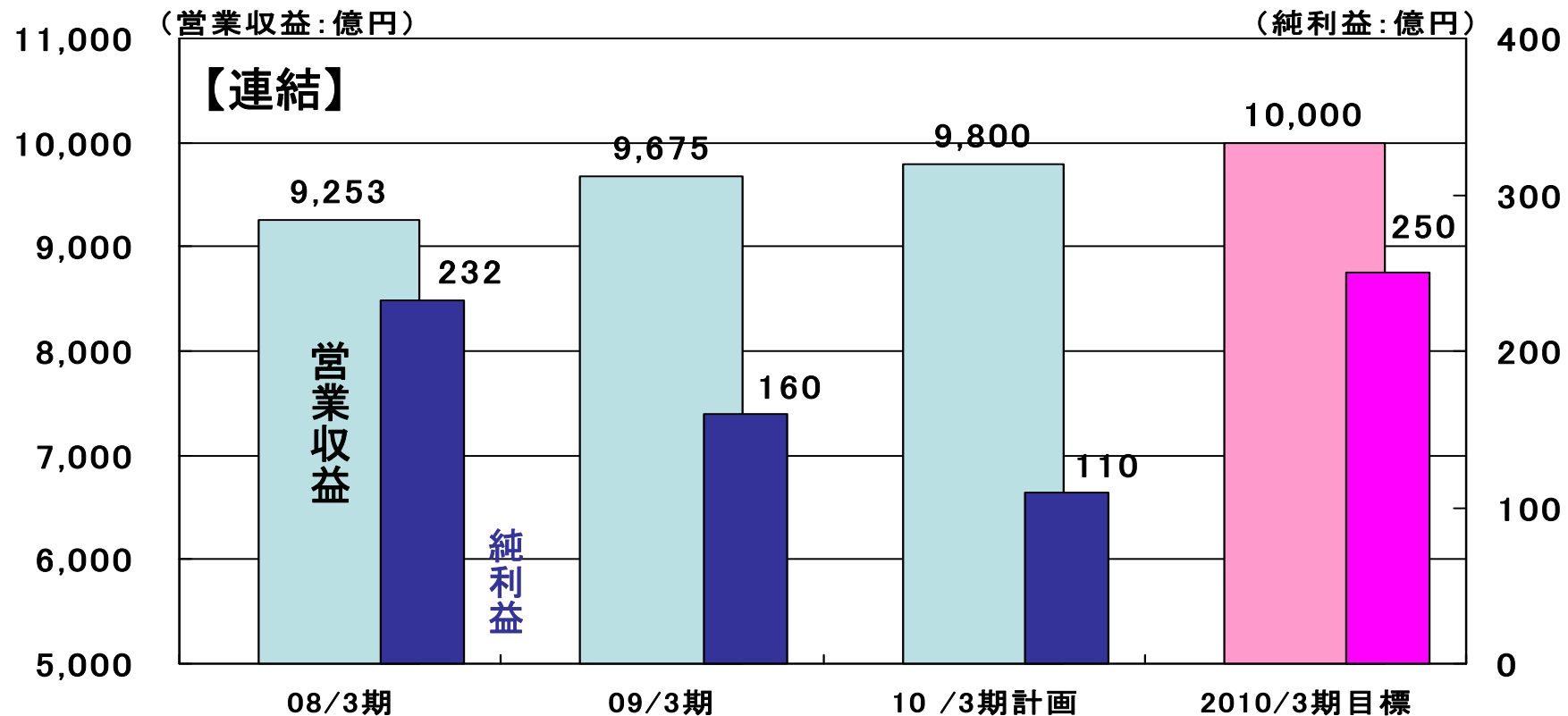
(億円:%)	2009 / 3期 実績	2010 / 3期 計画	前期比増減		当初計画 (5 / 13発表)
	売上高	売上高			
	営業利益 (営業利益率)	営業利益 (営業利益率)	金額	率 (%)	
運 輸 業	2,236	2,150	▲ 86	▲ 3.9	2,200
	323 (14.5)	275 (12.8)	▲ 48	▲ 15.1	305
レジャー・サービス業	1,963	2,560	596	30.4	2,650
	▲ 14 (▲0.7)	▲ 5 (▲0.2)	9	64.9	10
流 通 業	4,563	4,110	▲ 453	▲ 9.9	4,300
	6 (0.2)	▲ 5 (▲0.1)	▲ 11	-	15
不 動 産 業	1,111	1,180	68	6.1	1,250
	98 (8.9)	70 (5.9)	▲ 28	▲ 29.2	72
そ の 他 の 事 業	515	480	▲ 35	▲ 6.9	500
	14 (2.8)	11 (2.3)	▲ 3	▲ 24.1	14
合 計	9,675	9,800	124	1.3	10,200
	432 (4.5)	350 (3.6)	▲ 82	▲ 19.1	420

Ⅲ. 近鉄グループ経営計画 進捗状況



グループ経営計画の概要

	(億円)	08/3期	09/3期	10/3期計画	2010/3期目標
連結	営業収益	9,253	9,675	9,800	10,000
	当期純利益	232	160	110	250
	有利子負債	12,610	12,919	13,000	12,000以内
単体	営業収益	2,939	2,813	2,720	3,000
	当期純利益	76	169	110	150



「経営計画」の経緯と次期計画



1, 経営計画の各プロジェクトの着実な推進

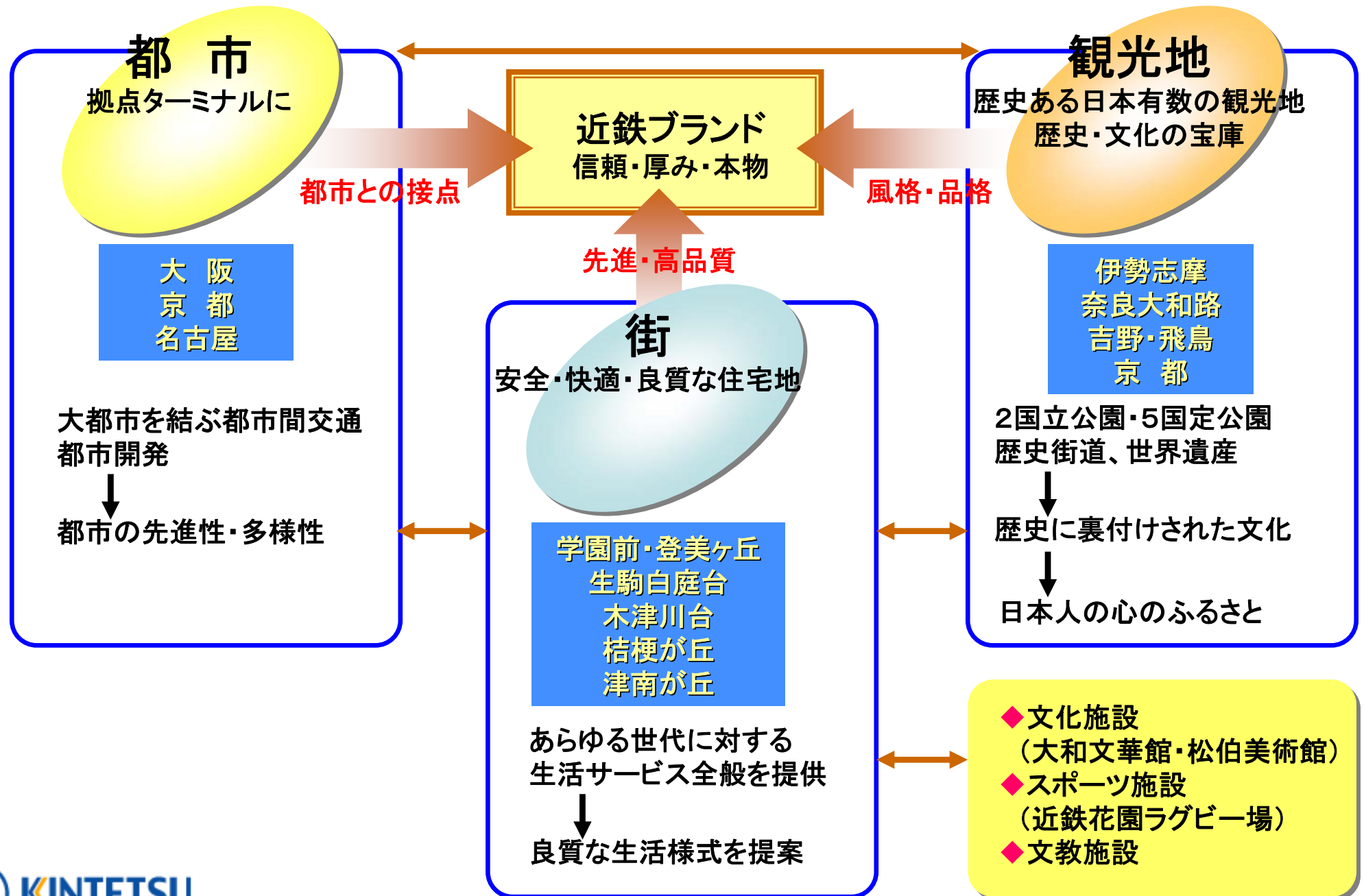
- ◆05年3月 けいはんな線開業
- ◆07年7月 ホテル近鉄アクアヴィア伊勢志摩開業
- ◆08年4月 ホテルニューアルカイク取得
 - ◆08年10月 京都駅「近鉄名店街みやこみち」リニューアル開業
 - ◆08年10月 「志摩観光ホテル ベイスイート」開業
 - ◆09年3月 阪神電鉄との相互直通運転開始
 - ◆09年12月 都ホテルトーランス・カリフォルニア開業
- 10年 平城遷都1300年祭
 - ◆10年春 あやめ池遊園地跡地街開き
 - ◆10年夏 上本町ターミナル新複合ビル開業
 - ◆11年秋 京都駅新ホテル開業
- 13年 伊勢神宮式年遷宮
- ◆14年 阿部野橋ターミナルビル開業

2, グループ経営の強化

- ◆07年10月 けいはんなバスホールディングス設立
- ◆08年11月 グループ旅行会社提携強化
- ◆09年3月 グループ百貨店会社集約
- ◆09年4月 グループ不動産会社集約

⋮

事業構築理念



4つのコア事業の推進

鉄道事業

- ◆ 安全確保のための対策を強化。新型ATSの整備等、安全投資を確実に実施
- ◆ 09/3月、**阪神電鉄との相互直通運転開始**による実質的な沿線拡大を機に需要喚起
- ◆ 伊勢志摩・**奈良大和路**といった沿線観光地の活性化
- ◆ **阿部野橋、上本町、京都等のターミナル整備**により利便性・快適性の向上

不動産事業

- ◆ ターミナル整備や主要駅の周辺開発により、将来の賃貸収益の基盤強化を図る
- ◆ けいはんな線沿線やあやめ池遊園地跡地開発といった良好な街づくりによる沿線価値向上と資金回収推進

流通事業

- ◆ **(株)近鉄百貨店、阿倍野本店建て替え**2014年に向け、収益向上、利益率の向上を図る
- ◆ 難波駅構内、**西大寺駅構内のショッピングモール化**など、顧客ニーズにあった駅ナカ事業の積極的展開

ホテル・レジャー事業

- ◆ 08/4月ホテルニューアルカイク取得、08/10月志摩観光ホテルベイスイート開業、**09/12月都ホテルトランス・カリフォルニア開業**等、による収益基盤の確立
- ◆ 既存ホテルのリニューアル等、ホテル間競争力の強化と収支向上の継続
- ◆ 「伊勢志摩近鉄リゾート」という地域統一ブランドでグループ会社間の営業連携、施設連携を強化

主要プロジェクトの進捗状況

■ 阿部野橋ターミナルビル整備

- 地域ポテンシャル
- 文化と緑が集う「阿倍野・天王寺」地区
- 駅直結の一大複合ターミナルビル計画概要
- 阿部野橋ターミナルビル(タワー館)

■ 阪神電鉄との相互直通運転

- 相互直通運転の概要
- 沿線の広がり

■ 京都駅ターミナルビル整備

- 奈良への玄関口整備
- 京都駅ターミナル整備推進状況

■ 平城遷都1300年祭(奈良地域活性化)

- 平城遷都1300年祭の概要
- 平城宮跡メイン会場イベント
- 奈良県内の観光資源と関連イベント
- 大和西大寺駅 駅ナカショッピングモール
- 奈良ターミナルリニューアル
- 奈良地域に展開するグループ事業

■ 新規ホテル開業

- 都ホテルトランス・カリフォルニア開業

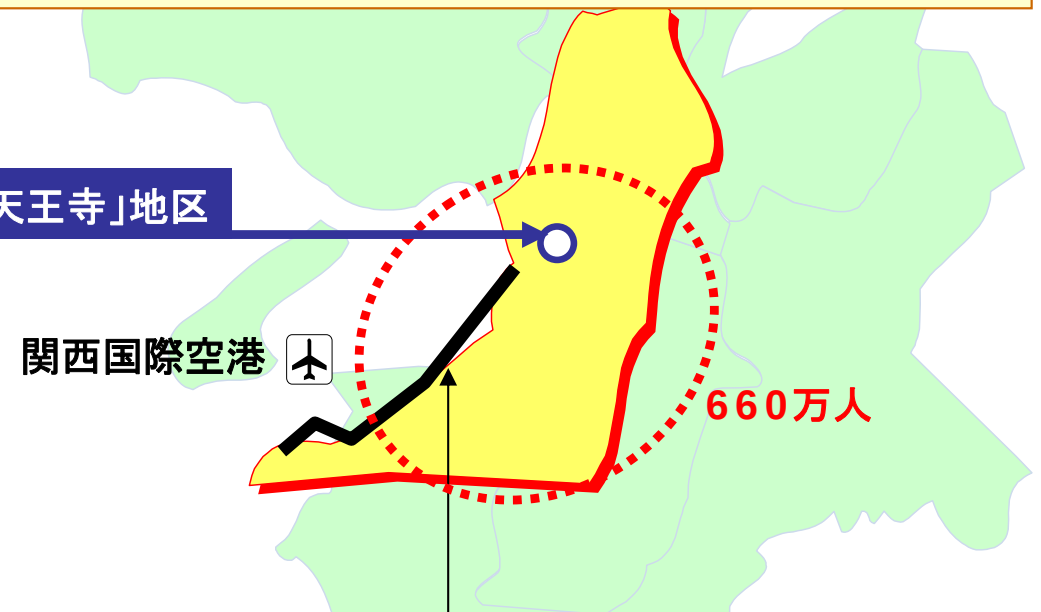
大阪における、“南の玄関口”としての「阿倍野・天王寺」地区

Potential ① ターミナル乗降 80万人/日
(近鉄、JR、地下鉄、阪堺)



Potential ② 近鉄百貨店阿倍野本店商圈

- 商圈人口 660万人(280万世帯)
- 年間売上 1,206億円(08年度)
- 1日来店客数 8万人



Potential ③ バイエリアでの開発
堺でのシャープ関連液晶コンビナート進出



天王寺公園
(動物園入場者数約190万人／年)



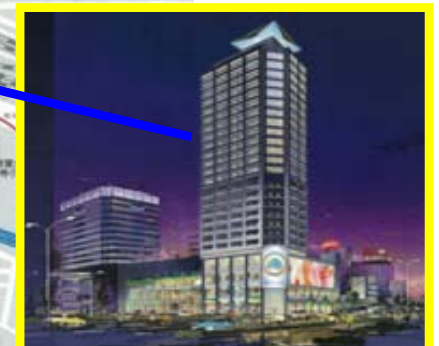
緑と都市機能の充実したエリア



四天王寺
(年間参詣者数約100万人)



大阪市立美術館
(年間入場者数約70万人)



阿倍野再開発事業(A1-2)
2012年春完成予定
(ホテル、商業施設等)



◆近鉄百貨店の西側において、阿倍野再開発事業が進んでおり、
大型商業施設が11年春開業予定
(延床面積約18万㎡ イトーヨーカドー、東急ハンズを核テナントに約200店舗)

駅直結の一大複合ターミナルビル計画概要

展望台

高さ300mの爽快空間
展望台、スカイガーデン

Observatory

Hotel

- ・ホテル
約34,000㎡
19・20階、
38～55・57階
(約400室)

Office

- ・オフィス
約62,000㎡
17・18階、
21～36階

地上60階
高さ約300m

日本最大の
都心複合型百貨店

Museum

Department Store

- ・百貨店
売場面積約100,000㎡
B2階～14階

Station

地下5階

先進的な都市機能をひとつのビルに集積

オフィス

最先端の大規模オフィス

ホテル

国際級ホテル

美術館

文化と憩いの
空中都市型美術館

百貨店

コンコース

人に優しく便利な駅 大阪阿部野橋駅

阿部野橋ターミナルビル(タワー館)

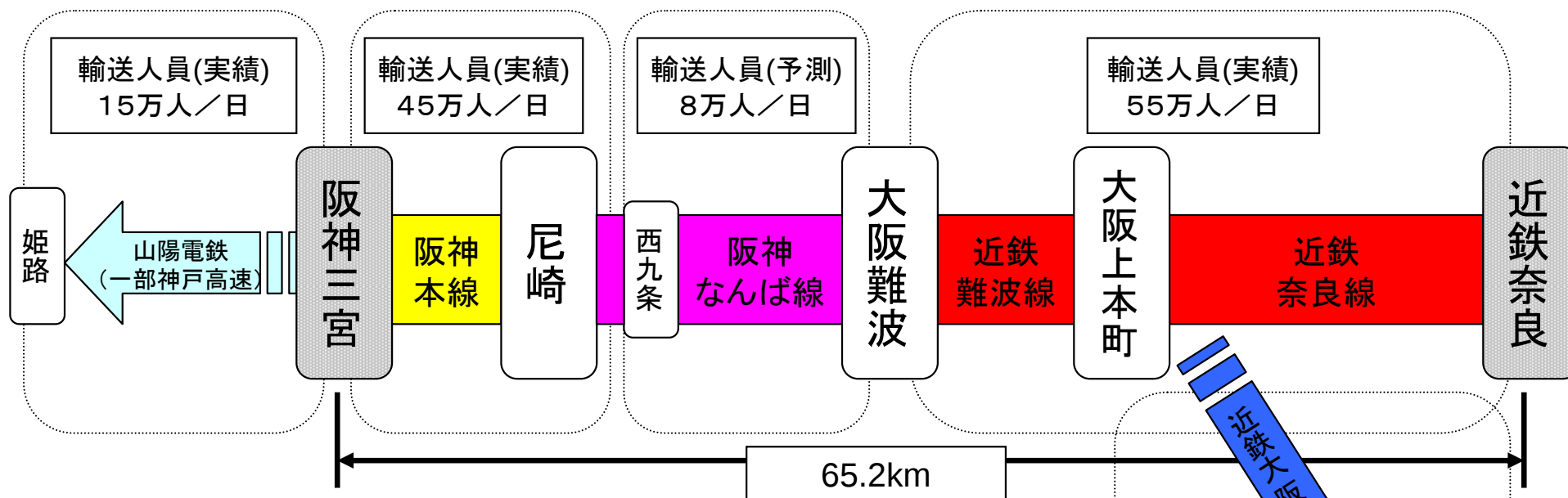
- ◆高さ約300m、地上60階
- ◆事業費:860億円
- ◆2014年春完成予定
- ◆現在タワー館建設のため、大阪阿部野橋駅の移転改装終了。
近鉄百貨店旧館部分の取り壊し中

現在、近鉄百貨店阿倍野本店、Hoop、andの3館体制で
在阪トップクラスの76,000㎡の営業面積



相互直通運転の概要

阪神三宮駅から近鉄奈良駅まで乗り換えなしの直通運転開始(09年3月20日開業)



阪神三宮～近鉄奈良間 相互直通運転の概要

- (1)所要時分 約80分(最速76分)
- (2)運賃 940円(阪神400円、近鉄540円)
- (3)運転本数(片道1時間あたり)

	時間帯	快速急行	普通等	合計
平日	朝ラッシュ時	5本	5本	10本
	昼間時	3本	3本	6本
土・休日	終日	3本	6本	9本

輸送人員(実績)
40万人/日

伊勢志摩・
名古屋方面



阪神電鉄との相互直通運転により、
神戸・大阪・奈良が一つにつながります

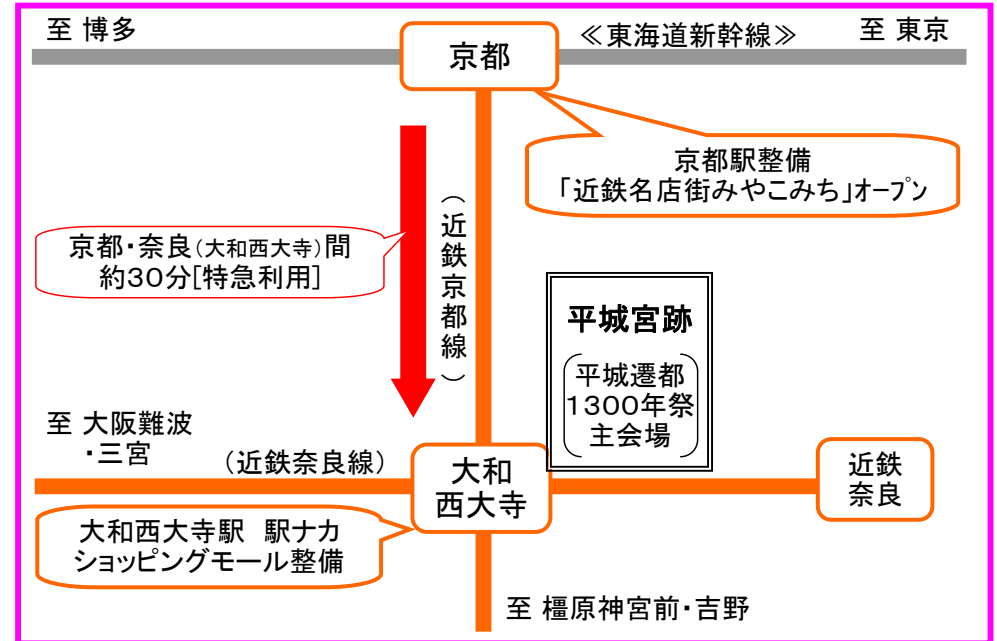


奈良方面へ年間150万人を送客

(1)改札口の統合～駅の利便性向上



新幹線からの乗換利便性向上
奈良への玄関口としてふさわしい駅へ整備



(2)「近鉄名店街みやこみち」 全面リニューアルオープン

国際観光都市・京都、奈良方面への玄関口である京都駅において、観光のお客様はもちろん地元のお客様まで、幅広いニーズに対応できる商業施設へとリニューアル。

「近鉄名店街みやこみち」概要

店舖面積 約3,400m²

店舗数 物販・サービス、飲食など41店舗



京都駅ターミナル整備推進状況

現在京都駅4号線新設工事ならびに宿泊特化型ホテル新設工事推進中

(1) 宿泊特化型ホテル新設 (2011年秋完成)

新設する京都駅4号線の上空を高度利用し、駅に直結した高品質エコノミークラスホテルを建設。

宿泊特化型ホテル概要

- 客室数 368室
(地上8階建て)
- 延床面積 約13,500㎡
- 投資額 約50億円

ウェスティン都ホテル京都、
新・都ホテルと合わせ
京都地区3館体制へ



(2) 京都駅4号線新設 (2012年春完成)

現在3線の線路の北側に1線増設して4線化することにより、列車の折り返し時間の延長などを行い、ホームでの待ち時間削減を減らすなどサービス向上を図る。

利便性高くバランスのよい特急網の確立
ホームにおいて余裕ある停車時間を確保、
お客様へのサービス向上

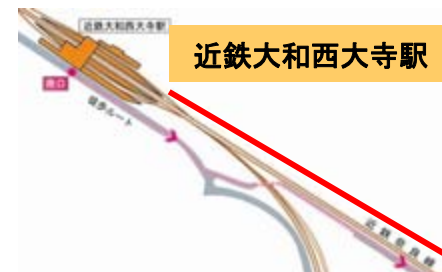
特急列車発着本数 118本／日(59往復)
特急利用人員 約1万人／日
4号線増線(2012年春)により、特急増本可能



平城遷都1300年祭の概要

メイン会場・平城宮跡では第一次大極殿正殿が復原・公開。
県内各地では約50社寺の秘宝秘仏特別公開や博物館・美術館で特別展を開催。

会 期: 2010年1月1日～12月31日(平城宮跡では4月24日～11月7日)
事業規模: 全体事業費 約100億円、参集規模 全体1,200～1,300万人(平城宮跡 約250万人)
主な事業: 大極殿完成記念式典(4月)、平城遷都1300年記念祝典(10月)



平城宮跡 第一次大極殿正殿復原事業



メイン会場の最寄駅は近鉄大和西大寺駅
(徒歩約10分または無料シャトルバス)



平城宮跡メイン会場 イベント

2010年4月24日～11月7日 平城京の歴史文化をまるごと体験・学習。

我が国を代表する文化遺産「平城宮跡」を舞台に、古代からの友好的な国際交流にも焦点を当てながら、平城京の歴史・文化や国づくりにかける情熱に感動的に出会い、参加体験できる様々な展示・催事を展開。

①平城京歴史館/遣唐使船復原展示



遣唐使船復原展示

②平城京なりきり体験館



平城宮仕事体験 ・ 疑似発掘体験 ・ 天平衣装体験

③古代行事の再現

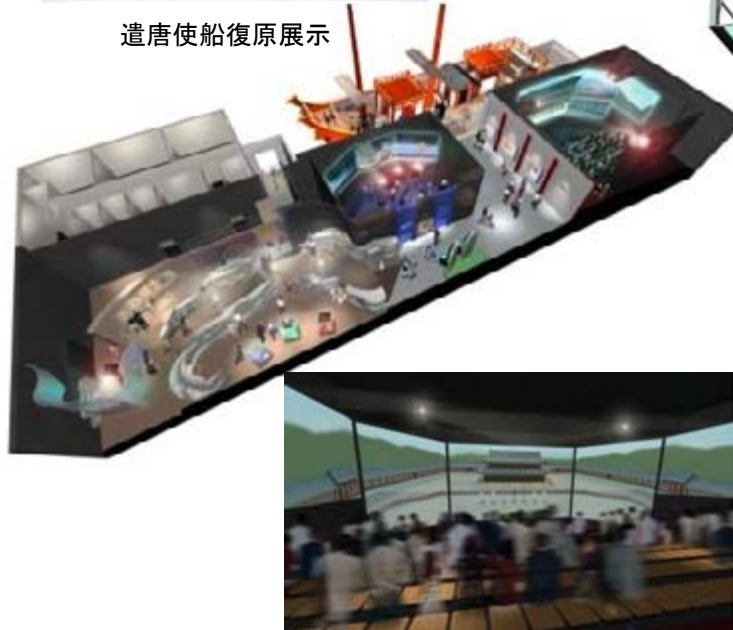


衛士隊の再現

④大極殿音絵巻



第一次大極殿正殿・前庭での特別ステージ



平城京VRシアター

2010年 平城遷都1300年祭

平城遷都1300年を機に、日本の歴史・文化が連続と続いたことを「祝い、感謝する」とともに、「日本のはじまり奈良」を素材に、過去・現在・未来の日本を「考える」。



奈良県の観光資源と関連イベント

歴史文化の宝庫
奈良県の観光入込み客数
～年間3,500万人～

① 3つの世界遺産

◆古都奈良の文化財

(東大寺、興福寺、春日大社、
春日奥山原始林、元興寺、
薬師寺、唐招提寺、平城宮跡)

◆法隆寺地域の 仏教建造物

(法隆寺、法起寺)

◆紀伊山地の 霊場と修験道

(吉野・大峯)

② 唐招提寺 金堂平成大修理 落慶法要(09年11月)

③ キトラ古墳壁画

四神(青竜・白虎・朱雀・玄武)
一斉公開(10年5月)

④ 平城遷都1300年祭に合 わせた秘宝・秘仏公開 (50社寺120件)(10年～)



東大寺の俊乗上人坐像
(公開期間延長)



唐招提寺金堂
(落慶法要)



当麻寺東塔・西塔
(内部初公開)



キトラ古墳壁画「朱雀」
(初公開)



室生寺の五重塔
(内部初公開)

大和西大寺駅 駅ナカショッピングモール

09年9月11日 大和西大寺駅構内ショッピングモール「Time's Place Saidaiji」オープン

平城遷都1300年祭メイン会場の最寄駅となる大和西大寺駅では、コンコース面積を約2倍に増床し、駅ナカショッピングモールを整備。駅ナカ新スポットとして列車の往来を間近に見ることの出来る展望デッキを設置。

増築面積 : 約1,800㎡
店舗数 : 飲食・物販など合計26店舗
投資額 : 約30億円



大和西大寺駅での乗換え人員 : 約140千人／日
大和西大寺駅の乗降人員 : 約48千人／日



展望デッキ

奈良ターミナルリニューアル

平城遷都1300年祭に向けて奈良の玄関口を整備

奈良の玄関口におけるランドマーク「奈良近鉄ビル」の外装や1階エントランスを刷新し、装いを新たに。

- ◆地上1階部分に観光案内所を設置し、観光客の利便性向上。
- ◆地下1階の近鉄奈良駅コンコースにおいても、観光案内ボードの設置や案内サイン関係の見直し、特急券売場やKNT営業所を整備し、改札口の再整備などを実施。



1F 観光案内所



B1F 切符売場とKNTツアーリスト奈良営業所



奈良近鉄ビル

奈良地域に展開するグループ事業

交通事業を中心に流通、ホテル、旅館、飲食事業を展開

奈良交通



奈良近鉄タクシー



近鉄百貨店



近鉄百貨店奈良店

奈良ホテル



奈良万葉若草の宿 三笠



近鉄観光



春日奥山月日亭

平城遷都1300年祭の関西7府県への経済波及効果
約1,500億円（関西社会経済研究所予想）

都ホテルトーランス・カリフォルニア開業

09年12月「都ホテルトーランス・カリフォルニア」オープン

所在地：米国カリフォルニア州トーランス市

施設：客室208室、宴会場1室、会議場2室、スパ、ジム、レストランおよびバー、ビジネスセンター

総事業費：約5,000万ドル

運営主体：アメリカ近鉄興業(株)

※トーランス市

ロサンゼルス郡(人口1,030万人)の南西部にあり、ロサンゼルス国際空港とロサンゼルス港とのほぼ中央に位置する陸海空の交通の拠点。市内には日系企業(トヨタ、ホンダ、パナソニック等)が数多く進出しており、治安も良く、教育環境も優れていることから日本人や日系人が多く居住する。



グループ経営の強化

再構築期

2005年

基盤確立期

2006年 ～ 2009年

創業百周年

2010年 ……

●05年12月発表

「近鉄グループ経営計画(2006～2009年度)」

次期「経営計画」

グループ経営の強化

- グループ間の営業連携強化のため、戦略的・効率的な再編をすすめる
- グループ統治体制の整備、強化
- 本社による事業分野ごとの責任経営体制の構築

◆07年10月 けいはんなバスホールディングス設立

◆08年11月 グループ旅行会社提携強化

◆09年3月 グループ百貨店会社集約

◆09年4月 グループ不動産会社集約

⋮

■ 各事業およびグループ会社の構造改革に着手



● 次期「経営計画」

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。



お問合せ先

経理部

Tel:06-6775-3465

Fax:06-6775-3691

Mail:ir-info@rw.kintetsu.co.jp